

# 時計 (時刻)

作 福岡教室

今号のテーマは「時計 (時刻) 」です。

## 学習のねらい

時間の概念の獲得の第一歩として、「何時何分」の時刻の読みとりをマスターすることがねらいです。時計のイラストを見て、長針と短針の読みとりを練習しましょう。イラストの読みとりができれば、壁掛け時計など実際の時計へとステップアップしていきましょう。

## 前提条件

数列書きができることが前提条件です。5、10、15……というように5とびの数列を書くことができる、なおよいでしょう。時計の針がさす数字を読みとるには、「ながい針」「みじかい針」の判断ができることも必要です。

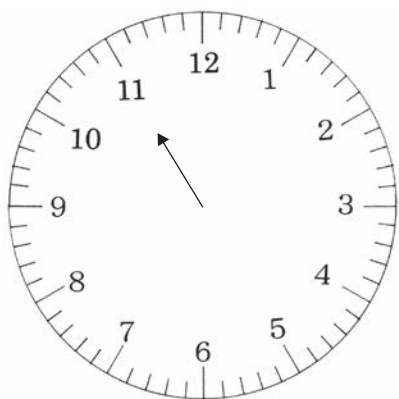
## 指導方法

はじめに短針のみで、「〇じ」ちょうどの時刻の読みとりから始めましょう。次に長針の読み方を覚えます。文字盤に、5とびの数字を書き込み、「〇ふん」の読みとりをしましょう。短針、長針ともに、ちょうど数字の上をさしているものから始めます。それができるようになったら、1分ごとの長針のよみや、数字と数字の間にある短針のよみを学習していきましょう。

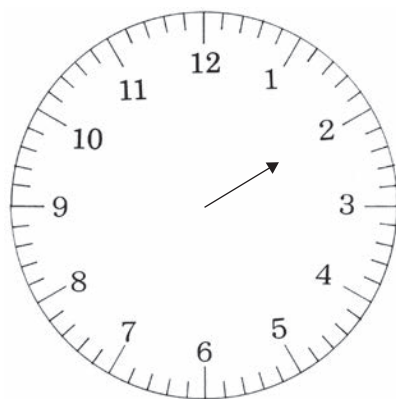
## 留意点

はじめは短針、長針それぞれ別に読みとりをしましょう。長針と短針の区別を行うには、「ながい」「みじかい」の区別ができることが前提条件です。区別がつきにくいときは、極端に長さを変えたり一方に色をつけたりしてもよいですが、なるべく早くもとの形に戻しましょう。また、ここでは時刻の読みとりができることが優先課題です。「く分間」などの時間の学習は混乱することもありますから、しばらく期間をおいてとりかかりましょう。

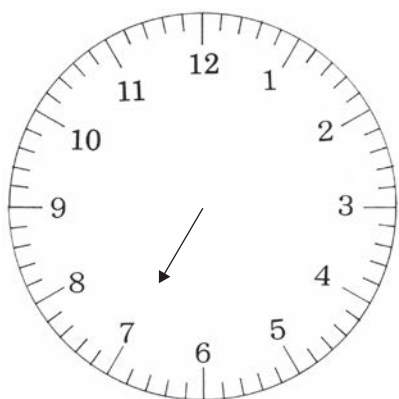
問1 なんじですか。



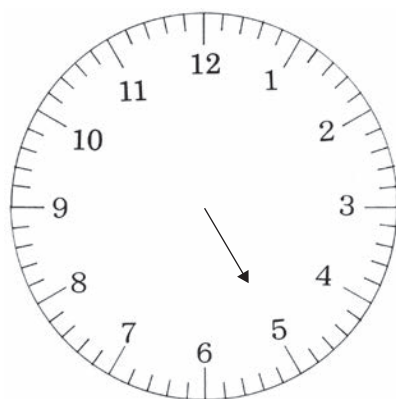
{                  じ }



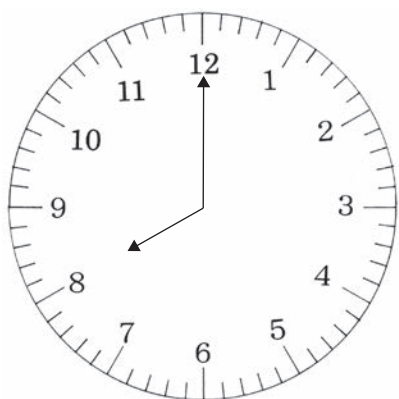
{                  じ }



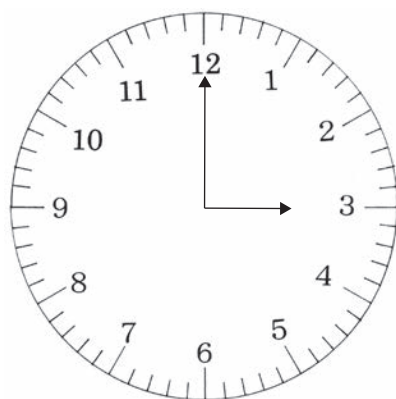
{                  じ }



{                  じ }



{                  じ }



{                  じ }

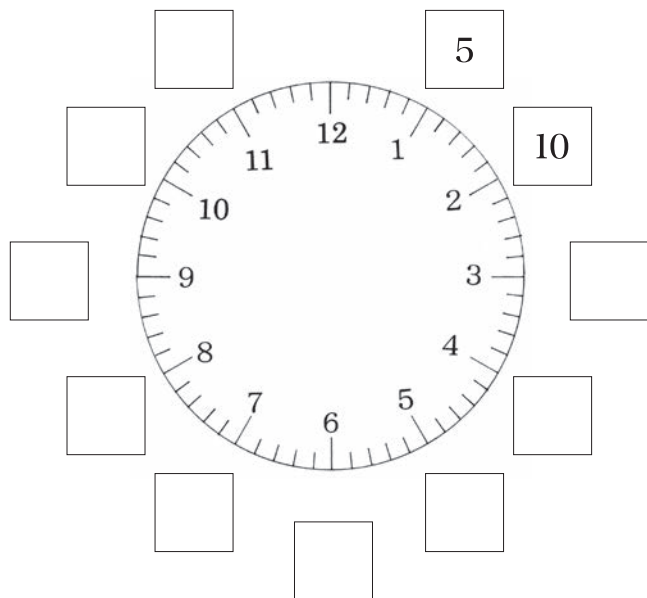
1									

問2 数列を書きましよう。

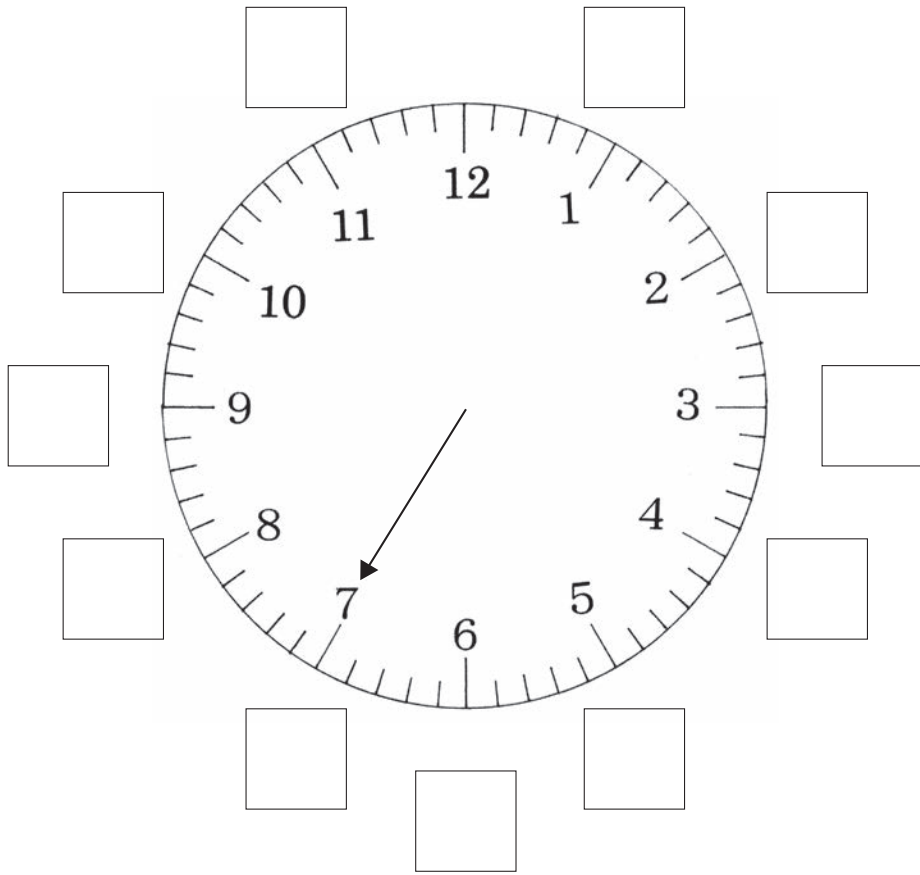
1〜60までの数列を書きましよう。

5	10								
---	----	--	--	--	--	--	--	--	--

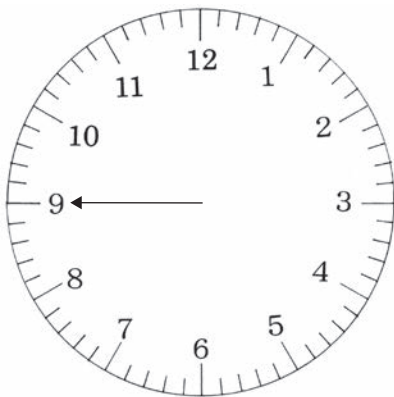
5とびの数列を書きましよう。



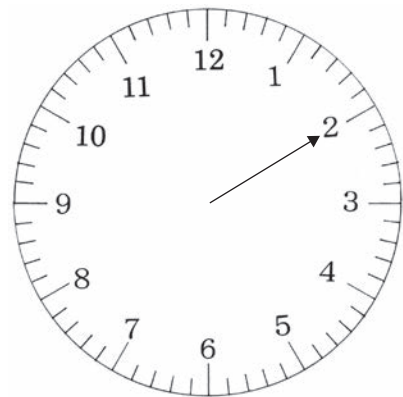
問3 なんぶんですか。



{ ぶん }

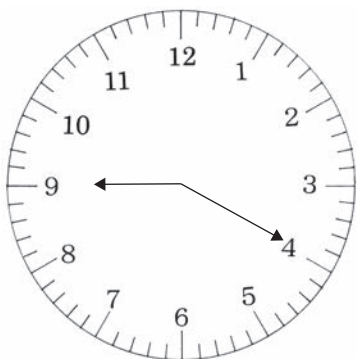
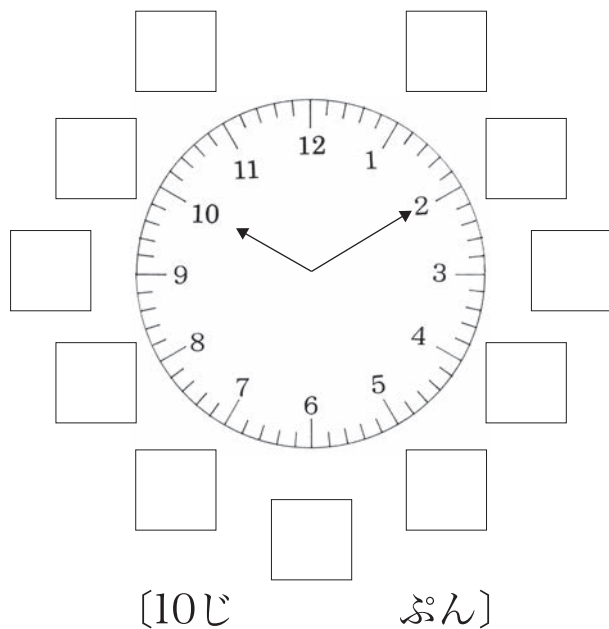


{ ぶん }

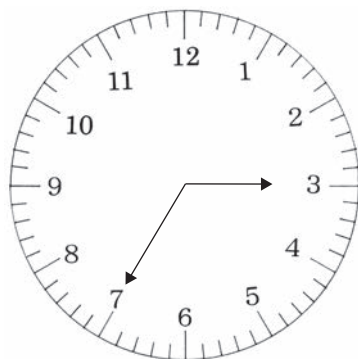


{ ぶん }

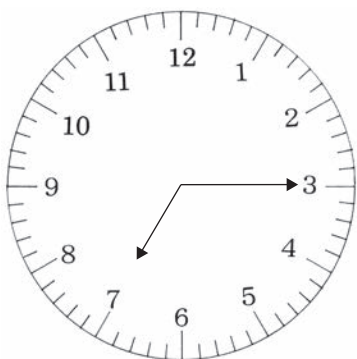
問4  
なんぶんですか。



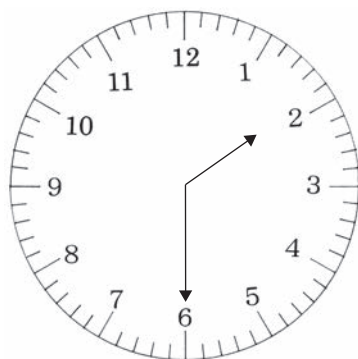
[9じ ぶん]



[3じ ぶん]

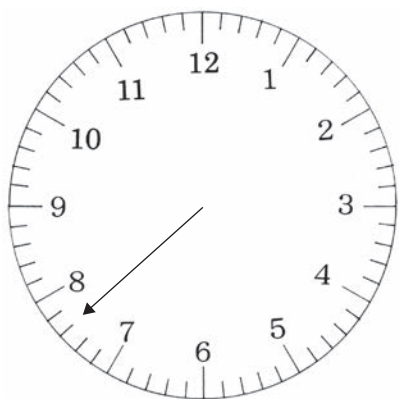


[7じ ぶん]

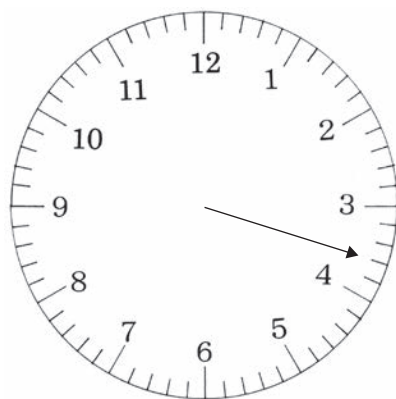


[2じ ぶん]

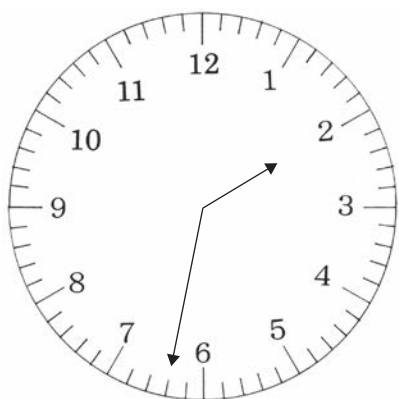
問5 なんぶんですか。



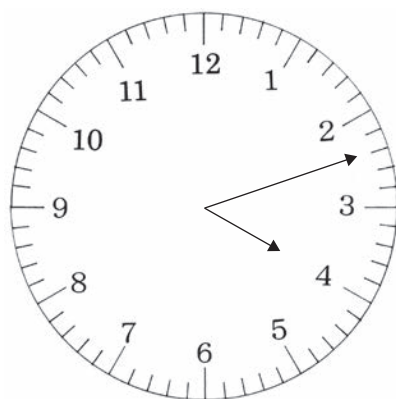
{ ふん }



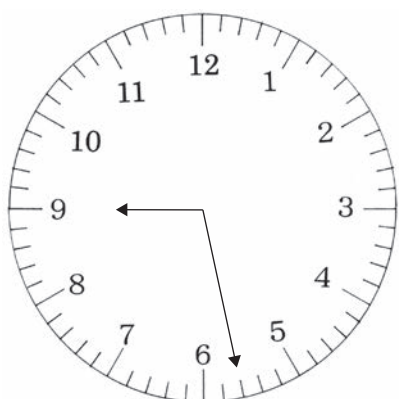
{ ふん }



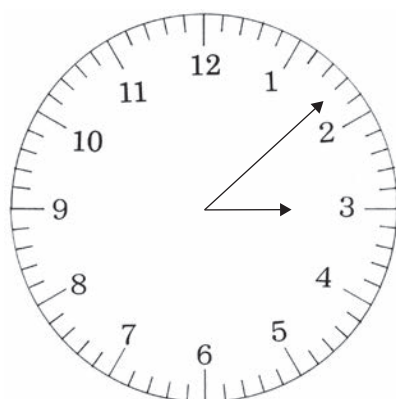
{ 2じ ふん }



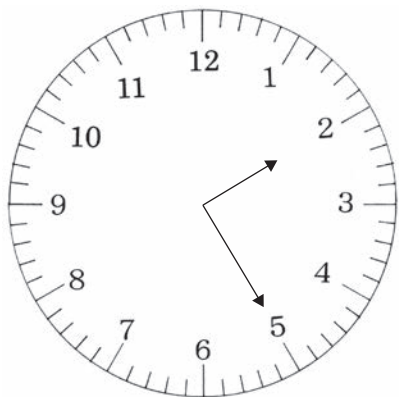
{ 4じ ふん }



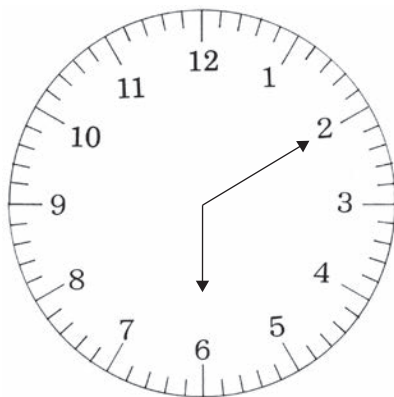
{ 9じ ふん }



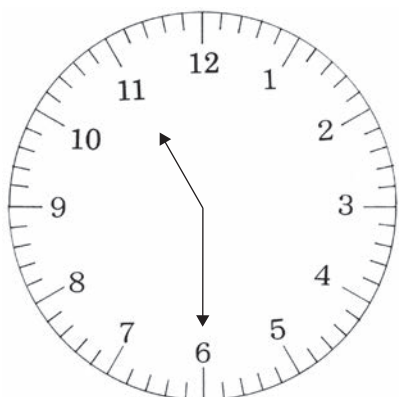
{ 3じ ふん }



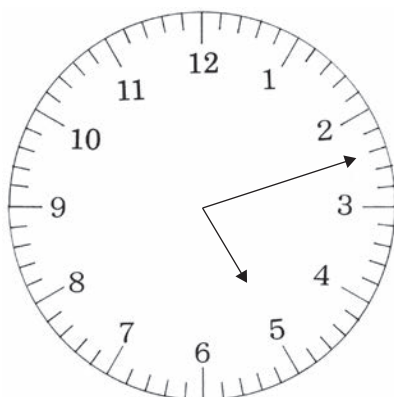
[ じ ふん ]



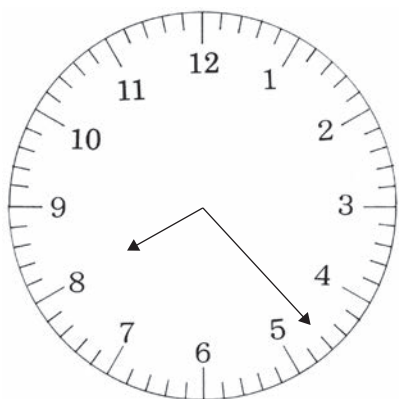
[ じ ぶん ]



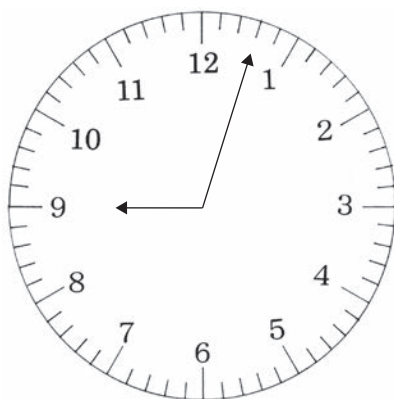
[ じ ぶん ]



[ じ ふん ]



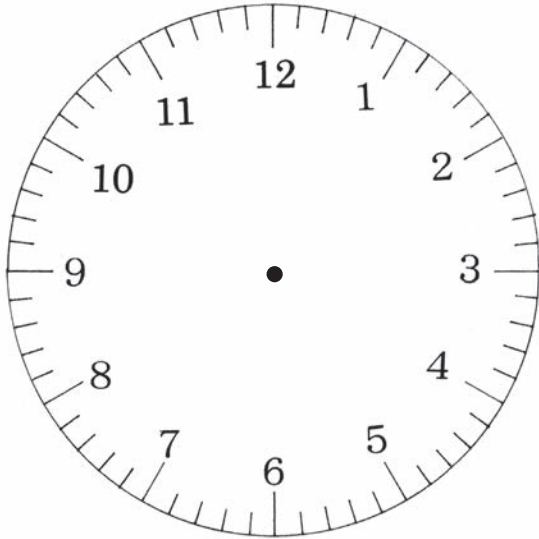
[ じ ぶん ]



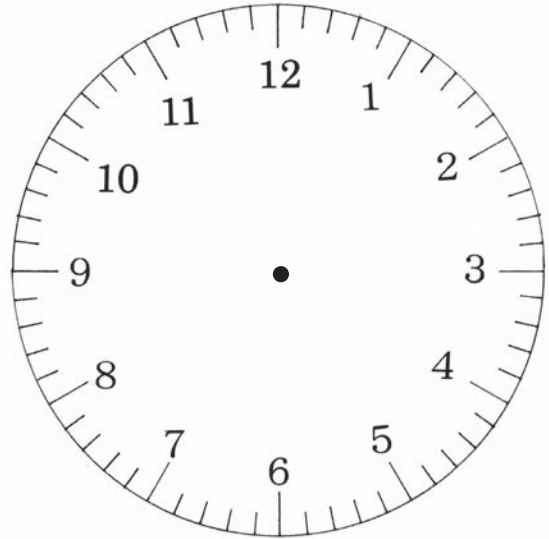
[ じ ぶん ]

問6 なんじなんぶんですか。

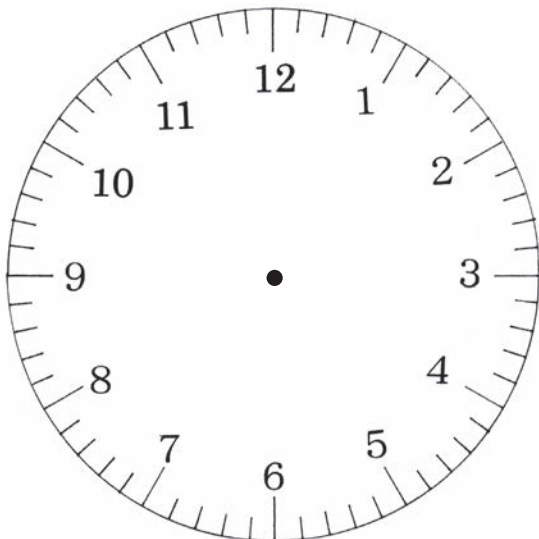
3じ 20ぶん



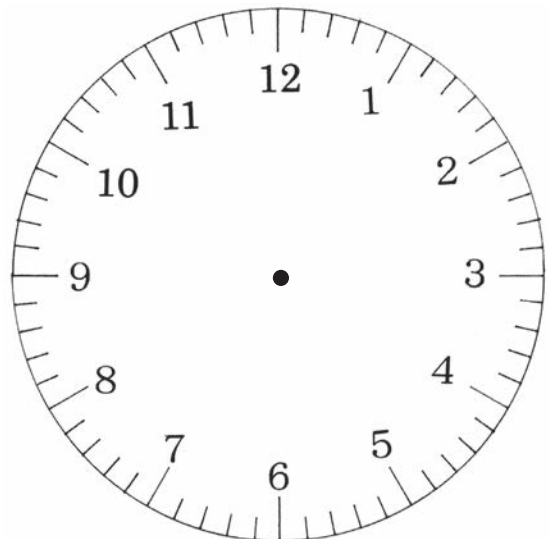
9じ 35ぶん



11じ 15ぶん



1じ 30ぶん



問7 とけいのはりをかきいれましょう。